

2019年12月20日発行

★ご意見・ご感想をお寄せください

090-1763-7785

市川市議会議員 浅野 さち

12月議会報告

大変お世話になっております。12月議会は、代表質問の補足質問者として質問いたしました。幼児教育・保育の無償化について、肝炎ウイルス対策について、多胎児妊娠、保育に対する支援について3点行いました。これからも皆様の声を伺い市政に届けてまいります。

肝炎ウイルス対策について

Q 検診の実施方法と陽性者フォローアップ事業の現状と今後の取り組みについて伺います。

A 肝炎ウイルス検診を40歳以上の市民を対象に無料で実施しています。この検診は生涯に一度受診して頂くもので、40歳になられた方と未受診の方には、特定健康診査やがん検診と併せて受診券を送付し受診を促しています。

肝炎ウイルス陽性の場合、県が行っている「陽性者フォローアップ事業」に参加勧奨致します。

初回の精密検査が無料となるほか、肝炎ウイルス感染を原因とする慢性肝炎や肝硬変、肝がんと診断された方には、年2回分の定期検査費用への補助を受けることが出来ます。今後、受診率の向上と「陽性者フォローアップ事業」の理解を深めるために、市川市医師会においても、肝炎検診検討委員会を立ち上げ、肝炎検診の効果を高めるための協議を行う予定があるとの事また、更なる周知を図ってまいります。

幼児教育・保育無償化について

Q 10月から幼児教育・保育無償化が開始されております。本市の現状と対応はどうか、また、待機児童対策の現状について伺います。

A 対象者は約1万1000人である。同制度は保育料に含まれていた給食費のうち副食費が無償化の対象外です。また、子ども子育て支援新制度へ移行していない私立幼稚園について、現在は保護者が園に保育料を支払った後に市が保護者に償還しているが、令和2年度からは、市が園に無償化分の給付費を支払う法定代理の方法とするように検討している。(強く指摘し令和2年4月から開始できるように要望しました)

待機児童数は元年10月1日現在で385人であり、2年4月までに約1000人の定員増となる。待機者への支援として、今後は保育所申請の負担軽減に向けたトータルサポートシステムの導入も検討する。

要望!

保育園は、副食費の事務手続きの負担増になっています。なるべく要点を絞り簡素化するように訴えました。また、副食費が無償化の対象外によって、市独自の保育料の軽減を受けていた一部の世帯で負担増になっている点は課題であります。丁寧な説明と共に、負担増にならないような手立てを考えるよう訴えました。